特別支援教育⑦

特別支援学校における今日的課題を踏まえた教育課程の編成
～「しなやかな心」を育てる自立活動の視点を生かした授業づくり～

新潟県立新発田竹俣特別支援学校　山本　綾（平成 21 年度）

本校では、不安や自信のなさといった「心」の面での課題から、学校生活の中で感情のコントロールができなかったり、集団に入れなかったりするなど、個別の対応が必要となる場面が多く見られた。教育目標「しなやかに」の実現に向けて、「心」の成長に重点を置いた指導や支援を充実させることが必要だと考え、『「しなやかな心」を育てる』をテーマに３年次計画で校内研究に取り組んでいる。

１年次は、「自立活動の視点を生かした実態把握と目標設定に基づく授業づくり」を重点とし、自立活動の指導に関する職員研修の機会の設定や「自立活動シート」を用いた一人一実践の取組を行った。２年次は、「しなやかな心の育成に向けた授業実践と指導計画の見直し」とし、各学年部で授業実践や授業改善を行った。

２年間の研究を通して、自立活動の重要性を確認したり、生徒の実態や日々の指導を見直したりすることができた。また、学年部で共通理解を図りながら実践に取り組み、より効果的な指導内容や学習形態の検討することができた。生徒一人一人の課題に応じた指導の充実と、学校全体で「しなやかな心」を育てる体制づくりを進めることができたと考える。